

中国哈尔滨工程大学体験留学記

2010年8月22日～9月29日



8月22日から9月29日にかけて、中国の哈尔滨工程大学へ体験留学をしてきました。現地の中国語が全く聞き取れないことに不安や焦りも感じましたが、授業が始まり、友人が増えるにつれて生活にも慣れ、下手くそな中国語でも何とか自分の意思を伝えられるようになりました。中国人だけでなく多くの国(ロシア、韓国、タイ、ベトナム、モンゴル、...)の留学生ともふれあうことができ、一緒に食事をしたり、少しですがお互いに言葉を教え合ったりしました。そこで思ったのが、外国の学生は語学に対する意識が高いということです。私たちと同じく1年間母国で中国語を勉強しただけという学生でも、私より遥かに上手に会話ができている、少し自分を情けなく思いました。更に彼らは日本に関してたくさんの知を持っていて、他の国について何か知っているか、と訊ねられると詰まってしまう私はもつと世界を知らなければならぬと痛感しました。



中国文化と中国語を学ぶための留学ではあったのですが、思いがけず様々な国籍の人々と交流できて、視野が広がりとてもいい刺激になりました。また店員との会話や買い物の仕方、道路の交通事情、食生活や物価の違いなど、実際に生活してみなければわからない貴重な経験ができたと思います。

中国でできた友人・関わった人々は皆いい人ばかりでした。できれば、もう一度会いに行きたいです。

情報通信工学科 2年 高塚 伊万里

